



◆ 構造物の耐久性を確保するためには、表層品質が重要な役割を果たします。表層品質の向上を目的とした養生手法も数多く開発されています。

アクアカーテンは代表的な手法です。

◆ しかし、表層品質の長期的な変化や養生効果の持続性については不明な点が多いと考えられます。

◆ そこで、愛媛大学理工学研究科理工学専攻 横山 勇氣先生が、中規模供試体を対象として、数年間オーダーの表層品質の変化を分析されました。



写真1 中規模RCラーメン模擬高架橋<sup>12)</sup>

Gma x	セ メ ン ト	ス ラ ン プ	W/C	Air	s/a	W	C	S	G	ad
20	N	13	58	4.5	45.2	168	290	826	1019	2.90

◆ 養生方法:示方書 → 材齢5日脱型

封緘養生→材齢5日脱型後フィルムによる28日まで封かん養生

給水養生→材齢1日脱型後養生マットによる28日まで給水養生

	降雨の影響を受けない	降雨の影響を受ける
表層透気係数	給水養生以外は差異が小さい	方法によるに差異は見られない
吸水量	養生条件が良いほど低下	方法による差異は見られない
累積細孔量	空隙構造にも差異が見られる	差異が減少する
中性化深さ	給水養生で進行抑制	中性化深さは小さい

◆ 環境や現象、材料等を考慮して適切な養生を施すことが重要



◆ 煩雑で難しい



◆ アクアカーテンの適用